

JIS

土工機械－後写鏡及び補助ミラーの視野－ 第2部：性能基準

JIS A 8333-2 : 2005

(JCMA/JSA)

平成 17 年 3 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 産業機械技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	朝 田 泰 英	財団法人電力中央研究所
(委員)	永 壽 伴 章	独立行政法人産業技術総合研究所
	大 地 昭 生	日本内燃機関連合会（東北大学）
	大 湯 孝 明	社団法人日本農業機械工業会
	岡 崎 治 義	社団法人日本建設機械化協会
	小 栗 邦 夫	農林水産省
	関 克 己	国土交通省
	西 本 徳 生	厚生労働省
	平 野 正 明	社団法人日本機械工業連合会
	広 瀬 俊 彦	財団法人エンジニアリング振興協会
	藤 咲 浩 二	社団法人日本産業機械工業会
	宮 川 嘉 朗	社団法人全国木工機械工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 17.3.20

官 報 公 示：平成 17.3.22

原 案 作 成 者：社団法人日本建設機械化協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-5776-7858)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 二瓶 好正）

審議専門委員会：産業機械技術専門委員会（委員長 朝田 泰英）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本建設機械化協会(JCMA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、ISO 14401-2:2004, Earth-moving machinery—Field of vision of surveillance and rear-view mirrors—Part 2: Performance criteria を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS A 8333-2 には、次に示す附属書がある。

附属書 A (規定) 後写鏡及び補助ミラー—地表における視野

附属書 1 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表

JIS A 8333 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS A 8333-1 第 1 部：試験方法

JIS A 8333-2 第 2 部：性能基準

目 次

	ページ
序文.....	1
1. 適用範囲.....	1
2. 引用規格.....	1
3. 定義.....	2
4. 視野の等級.....	2
5. 要求事項.....	2
5.1 一般.....	2
5.2 位置.....	2
5.3 調節.....	2
5.4 間接視野.....	2
5.5 障害物.....	3
附属書 A (規定) 後写鏡及び補助ミラー—地表における視野.....	9
附属書 1 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表.....	10
解 説.....	13

土工機械—後写鏡及び補助ミラーの視野—

第 2 部：性能基準

Earth-moving machinery—Field of vision of surveillance and rear-view mirrors—Part 2: Performance criteria

序文 この規格は、2004 年に第 1 版として発行された ISO 14401-2, Earth-moving machinery—Field of vision of surveillance and rear-view mirrors—Part 2: Performance criteria を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 1 (参考)** に示す。

1. 適用範囲 この規格は、土工機械（以下、機械という。）に取り付けられた後写鏡及び補助ミラーの視野に関する性能基準について規定する。この規格は、公道及び公道外で使用する、**JIS A 8308** に定義する運転員が着座した自走式の車輪式及び履带式土工機械に適用できる。

備考 公道上を走行する機械には我が国の規制を追加適用してもよい。

この規格は、**JIS A 8308** に定義する次に掲げる機械には適用しない。

- 手押し式（ハンドガイド式）機械
- 運転質量（**JIS A 8320** 参照）50 000 kg 以上のショベル系掘削機
- パイプレーヤ
- スキッドステアローダ
- ミニ不整地運搬車
- ミニ締固め機械
- トレンチャ

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21** に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 14401-2:2004, Earth-moving machinery—Field of vision of surveillance and rear-view mirrors—Part 2: Performance criteria (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 8308 土工機械—基本機種—用語

備考 **ISO 6165** Earth-moving machinery—Basic types—Vocabulary が、この規格と一致している。

JIS A 8311 土工機械—運転席の視界測定方法とその評価基準